

ギャラリー展示

Latitude

にいさとあきお

新里明士 陶磁器展



■期間：2014年8月20日(水)～2014年9月30日(火) 無休/入場無料

■時間：11:00～20:00 (最終日は17:00まで)

■場所：オリエンタルホテル広島1階 オリエンタルデザインギャラリー (広島市中区田中町6-10)

■展覧会によせて

器という形に穴を開け、半透明の釉薬でその穴を埋める。

穴を開けると器は「用」を満たさなくなっていくが、穴を釉薬で埋めると「用」をぎりぎり取り戻す。

このようにして、器が持つ用と形の境界線を表現したいと思い、作り始めた『光器』。

だが、穴を穿たれた器の状態が自分にとって普通の事となり、少し装飾的なその穴だけでも作品として成立するのではないかと思うようになってきた。

日本の工芸は技術・技法的な要素を強調することで、表現としての強度を持つことが出来るのではないだろうか、とか考えながら、また終わりが見えないような穴を開けている。

新里 明士

展覧会関連イベント

■記念講演会

出演：新里明士（陶磁器作家）

日時：2014年8月20日(水) 18:30~19:30

場所：オリエンタルホテル広島3階「チャペル」

定員：80名（参加無料・要申込・先着順締切）

※電話にてお申込ください。

■オープニング・レセプション

日時：2014年8月20日(水) 19:30~20:30（参加無料）

場所：オリエンタルホテル広島1階 ロビー

■お問い合わせ・講演会のお申込

オリエンタルデザインギャラリー 082-240-9463(直) 受付時間 11:00~20:00

■新里明士（にいさと あきお）[陶磁器作家] プロフィール



1977年生まれ。千葉県出身。多治見市陶磁器意匠研究所修了。文化庁新進芸術家海外研修制度研修員(ボストン・アメリカ)。「現代の名碗」菊池寛実記念 智美術館、「清州国際工芸ビエンナーレ」、「東海現代陶芸 思考する新世代展」(愛知県陶磁資料館本館)、「白の時代」(益子陶芸美術館)、「REVALUE NIPPON PROJECT」(茨城県陶芸美術館)、「現代工芸への視点-茶事をめぐって」(東京国立近代美術館工芸館)、「金沢・世界工芸トリエンナーレ」、「非情のオブジェ」(東京国立近代美術館工芸館)。主なコラボレーションに「REVALUE NIPPON PROJECT」TAKE ACTION FOUNDATIONプロジェクト、藤原ヒロシ監修 宮島達男(美術家)×新里明士や、フランスのシャンパーニュメゾン「Ruinart」とのコラボレーションなど。

【本イベントに関するお問合せ先】

オリエンタルホテル広島 セールス&マーケティング部 TEL:082-240-9462(直) FAX:082-240-9460
〒730-0026 広島市中区田中町 6-10

大瀬戸 悠 E-mail:haruka.osedo@oriental-hiroshima.com

森田 麻水美 E-mail:masumi.morita@oriental-hiroshima.com

※画像のデータをお送りいたします。上記電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。